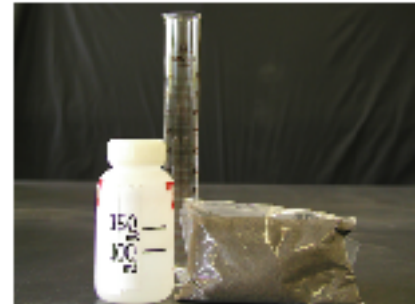


トマト栽培での植物体と 土壌の簡易な硝酸測定法

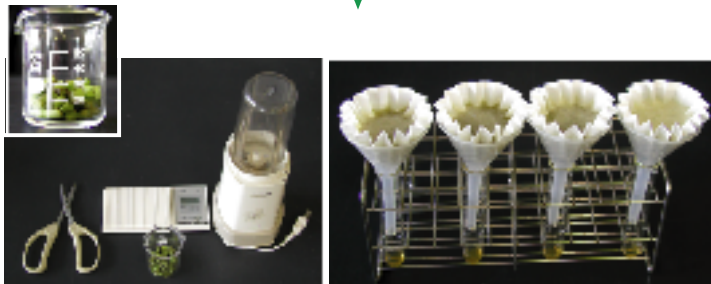
生育中のトマト体内と土壌中の硝酸（窒素）を簡易に測定できる方法を確認しました。



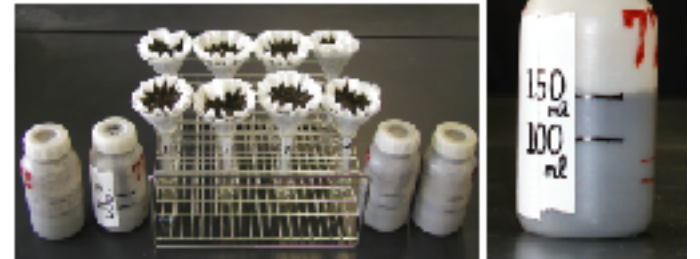
トマトの試料は、花房のすぐ下の約10cmに伸長したえき芽の葉部を取り除いた茎部7～10個体とします。



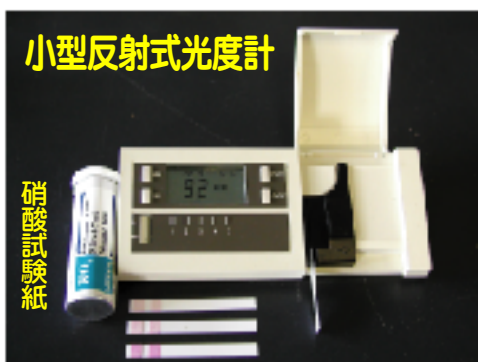
土の試料は、畝表面から深さ5～15cmで、1ほ場の5か所から採集した混合土とします。



えき芽の茎部を1cm程度の細片とし、えき芽1に対して水10(重量比)加えて、ミキサーで30秒間摩砕後ろ過します。



生土は粗大物を除去し、生土1に対して水を2(容積比)加え、1分間手で振とう後ろ過します。



ろ液を硝酸試験紙の測定範囲内(5～225ppm)とするために、水で2～4倍に希釈して、小型反射式光度計を用いて、ろ液中の硝酸を測定します。

